

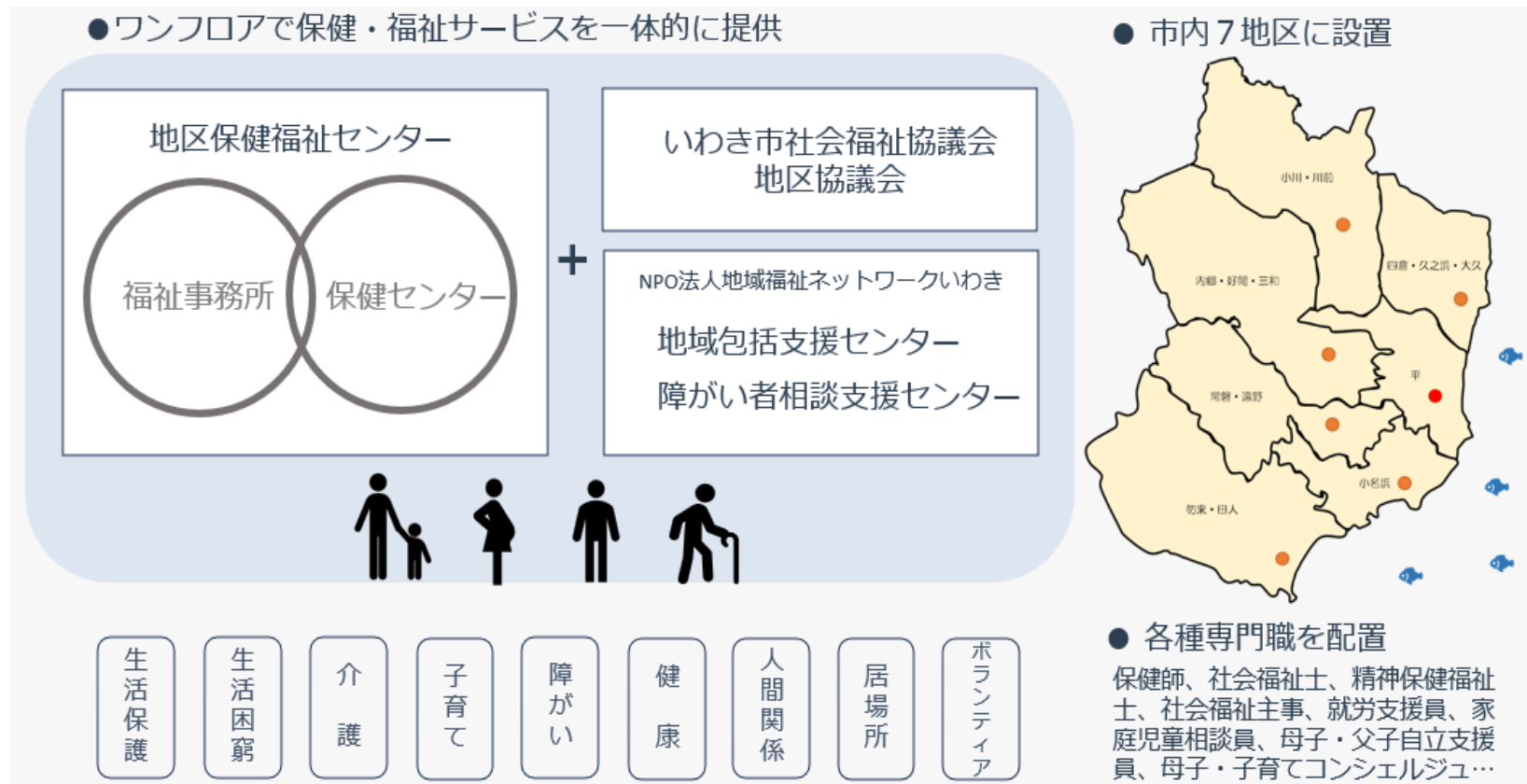
「“地区セン”ってなんだろう？」

こんにちは！いわき市保健福祉課・地域共生社会推進係です。

今回は、「地区保健福祉センター」(通称:地区セン)についてご紹介します！

地区保健福祉センターは、平成15年4月から市内7か所に設置しており、同フロア内に「いわき市社会福祉協議会地区協議会」・「地域包括支援センター」・「障がい者相談支援センター」も設置され、ワンストップで福祉・保健サービスを提供できる機能を持っています。

各分野ごとの担当がチームで連携しながら、1人ひとりの状況・ニーズに応じた切れ目のない包括的な支援を行っています。



地区保健福祉センターの場所

窓口	窓口設置場所	電話	担当地区
平地区保健福祉センター	市役所本庁舎1階 (平字梅本21)	0246-22-1163	平地区、 若葉台・小島町・内郷小島町
小名浜地区保健福祉センター	小名浜地区保健福祉センター (小名浜花畑町34-2)	0246-54-2111	小名浜地区
勿来・田人地区保健福祉センター	勿来支所1階 (錦町大島1)	0246-63-2111	勿来、田人地区
常磐・遠野地区保健福祉センター	常磐支所1階 (常磐湯本町吹谷76-1)	0246-43-2111	常磐地区、遠野地区 注:若葉台の区域を除く。
内郷・好間・三和地区保健福祉センター	総合保健福祉センター2階 (内郷高坂町四方木田191)	0246-27-8690	内郷地区、好間地区、三和地区 注:小島町及び内郷小島町の区域を除く。
四倉・久之浜大久地区保健福祉センター	四倉支所1階 (四倉町字西四丁目 11-3)	0246-32-2114	四倉地区、久之浜・大久地区
小川・川前地区保健福祉センター	小川支所 (小川町高萩字小路尻 19-10)	0246-83-1329	小川地区、川前地区

地区保健福祉センターの主な業務

福祉

地域福祉のセーフティネット

- 高齢者福祉（介護保険含む）
- 障がい者・児の相談支援
- 子ども・子育て家庭の相談支援
- 生活困窮者・生活保護の相談支援
- その他各種福祉制度の申請受付
（乳幼児医療、児童手当、保育所入所等）等

健康

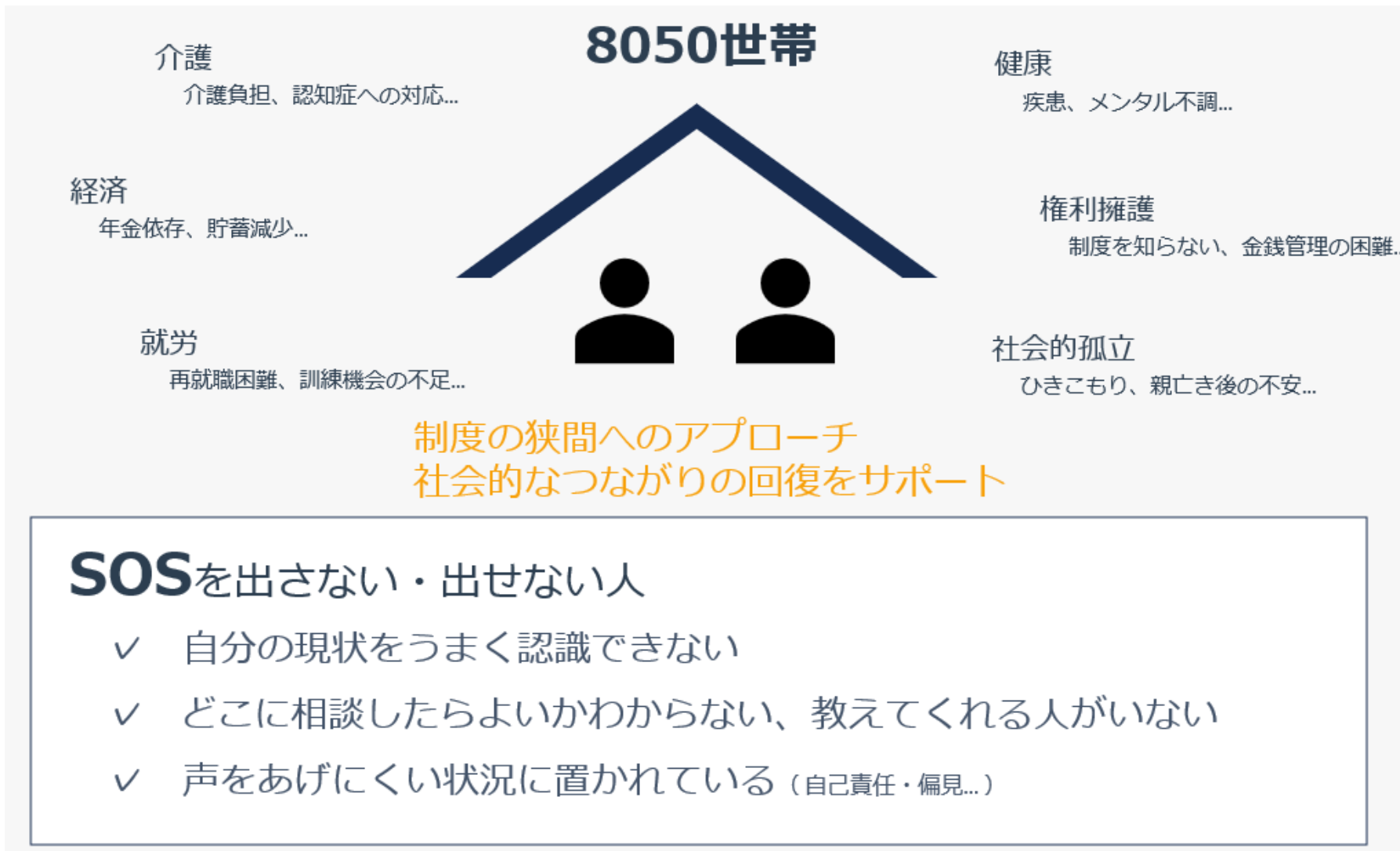
ライフステージ全般にわたる健康づくり

- 生活習慣病予防
- 母子保健・子育て支援
- 一般介護予防
- 感染症予防
- 精神保健（精神障がいを含む）
- 健康相談、健康教育 等

対応

保健師／社会福祉士／精神保健福祉士／社会福祉主事／就労支援員／家庭児童相談員／
母子・父子自立支援員／母子保健コンシェルジュ／子育てコンシェルジュ

近年増加する複雑・複合な事例 – 社会的孤立の実態 –



複数の課題を
抱える世帯にも
チームで対応

相談を待つ
だけでなく
アウトリーチ
（訪問等）
でも支援

相談支援の視点

〔 一時支援 〕

課題が明らか→現金/現物給付(局所的)

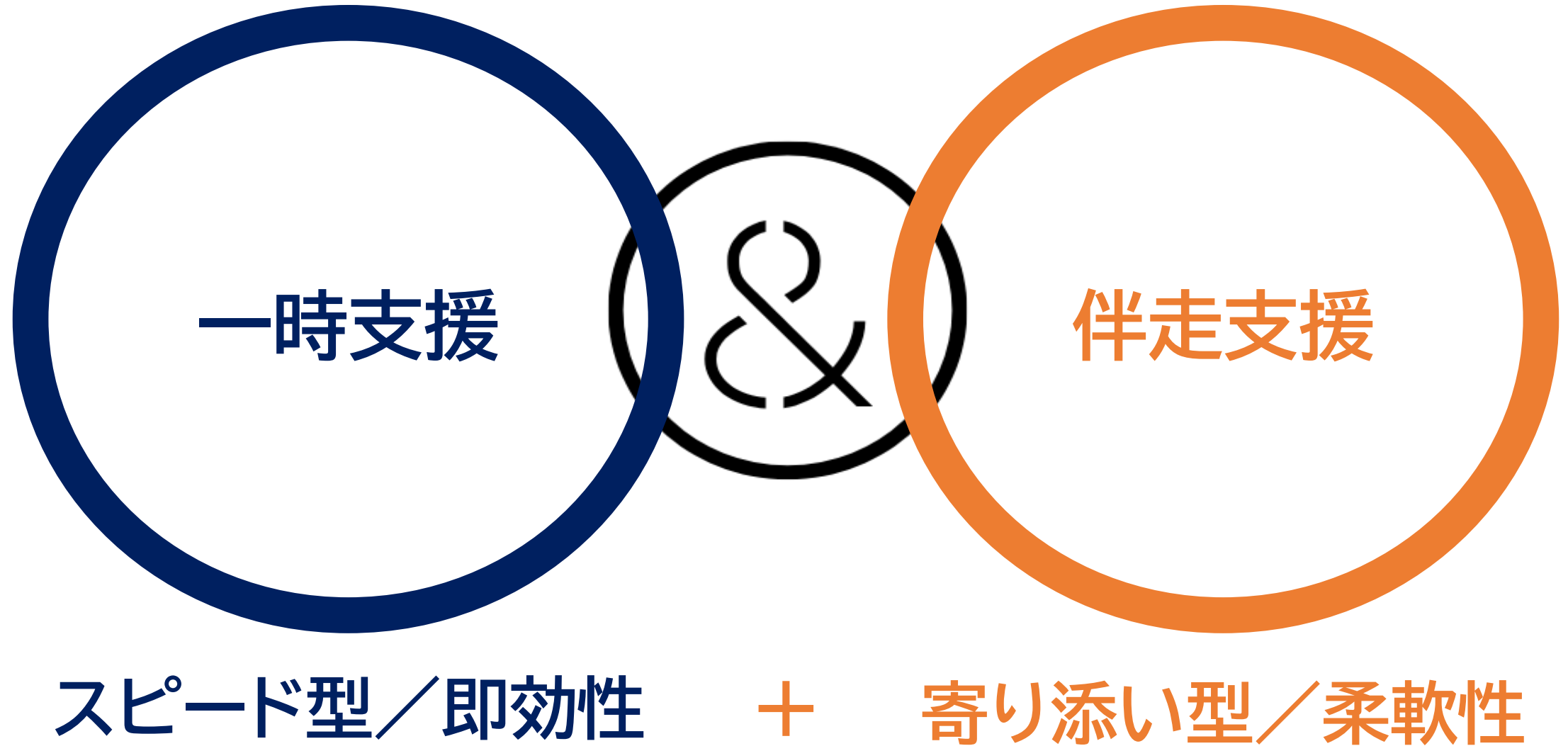
目的	訴えてきた困りごとに対応
相談	窓口・電話等の相談対応がメイン
評価	訴えてきた 具体的な課題 を中心に アセスメント
調整	担当事務・ノウハウの範囲内 で調整し 制度・サービスにつなぐ
伴走	制度・サービスにつなぎ 必要に応じて対応

〔 伴走支援 〕

課題が複雑・複合→人・資源と連携/つなぐ(包括的)

+	自分らしい生活を送れるよう支援
+	ケースを 把握するスキル強化 (訪問強化) 関係者との 情報共有の強化
+	世帯全体の生活課題を把握 経緯・背景などを把握しアセスメント
+	多岐にわたる課題の支援調整 を行い 制度・サービスにつなぎ 関係者間で共有
+	世帯状況の変化等をモニタリング 制度・サービスにつないだ後の伴走支援

相談支援の視点



地区セン担当者の声 (内郷・好間・三和地区保健福祉センター／福祉専門職)

大切にしていること

日々大切にしていることは、**目の前の方を理解しようとする姿勢**です。地区センに訪れる方は、それぞれが何らかの困難を抱えながらも、自分なりに向き合っていますので、私も敬意をもって向き合いたいと感じています。

また、同じような状況に見えても、望む暮らしや大切にしている価値観は一人ひとり異なります。制度や支援を当てはめるだけでなく、不安や生きづらさなどを丁寧に聴きながら、**一人ひとりの暮らしや選択につながる支援**を心がけています。



地区セン担当者の声 (内郷・好間・三和地区保健福祉センター／福祉専門職)

やりがい

相談業務は、**人の暮らしや生きざまに直に触れる仕事**です。相談者の「気持ちが軽くなった」「自分にもまだできることがある」といった言葉や、自信や意欲、安心をとり戻す場面に立ち会えることは、何よりも嬉しいと同時に、力をもらう瞬間でもあります。

1人ひとりの**「どう暮らしていきたいか」**を一緒に考え、その実現に向けて**多職種や地域の方々**と協働しながら、住みよい地域づくりにつなげていくこともやりがいの一つです。地域づくりを通して、様々な方から「できることがあればぜひ協力したい」と声をかけていただけること、想いを共有できることが、大きな励みになっています。

地区セン担当者の声 (内郷・好間・三和地区保健福祉センター／福祉専門職)

これから

福祉は、誰か特別な人のためのものではなく、誰もが生きていく過程で関わりが出てくるものだということを実感しています。

地域には、困難を抱えていても、さまざまな事情から相談に来られない方がいます。こちらから地域に出向き、声になりにくい思いや困りごとに気づいていく関わりが、ますます重要になると考えています。

困った時は一人で抱え込まず、誰かに相談できること、地域の中に受け止めてくれる人や場所があることが大切で、それは行政だけでなく、地域の多様なつながりによって支えられるものだを実感しています。

地区セン担当者の声 (内郷・好間・三和地区保健福祉センター／福祉専門職)

想い

今は、同じ地域で暮らしていても、お互いの暮らしや背景を知る機会が少なくなっているように感じます。「知らない」ことから無関心や偏見が生まれてしまうのは自然なことです。

孤立や排除をなくすため、困難な状況におかれた方の境遇が、誰にでも起こり得るものであることを伝え、少しでも関心をもてるきっかけをつくることも福祉職としての大切な役割だと感じています。

人と人、人と地域をつなぎながら、お互いの違いや弱さも認め合える懐の深いまちを地域の皆さんとともにつくっていききたいです。